

# 公益財団法人ヒロセ国際奨学財団

## 令和2年度事業計画書

本財団の目的を達成するため、アジア諸国からの留学生に対する奨学援助、研究助成及び学術の振興に関し、次の事業を行う。

### (1) 奨学援助事業

- (ア) 令和2年度の奨学生の選考及び決定を行う。  
奨学生の年間採用数は、合計130名とする。

#### ① 一般奨学金

本財団が指定する大学及び大学院に正規生として在学する私費留学生に対する奨学金。

【採用数】 新規・継続合わせて 110 名

<内訳>

前年度からの継続者	84名
修士進学者	11名
博士課程延長希望者	5名
渡日時奨学生から学部進学者	13名
SAKAI MS への振分者	-3名
新規採用予定者	0名

計 110名

【支給額】 学部生	月額 18 万円
大学院生	月額 20 万円

【支給期間】 原則として 1 年間とするが、特に成績優秀な者及び当財団の交流事業を理解する者については、その後一年ごとに更新し、所属する学部、研究科の標準年限まで延長可とする。

【予算額】 (@180 千円×53 名 + @200 千円×57 名)  
×12 月 = 251,280 千円

#### ② 酒井メモリアル・スカラーシップ (SAKAI MS)

本財団が指定する大学及び大学院に正規生として在学し、理工学系関連分野を専攻する私費留学生に対する奨学金。

【採用数】新規、継続合わせて 11 名

<内訳>

前年度からの継続者	6 名
博士課程延長希望者	2 名
一般奨学生からの振分者	3 名
計	11 名

【支給額】 大学院生 月額 20 万円

【支給期間】原則として 1 年間とするが、特に成績優秀な者及び当財団の交流事業を理解する者については、その後一年ごとに更新し、所属する学部、研究科の標準年限まで延長可とする。

【予算額】 @200 千円×11 名×12 月=26,400 千円

### ③ 渡日時奨学金

我が国の大学に留学する目的をもって渡航する高校卒業又は卒業見込みの者で、来日時の渡航費及び滞在費等、留学費用の調達が困難な者に対する奨学援助費。

【採用数】新規、継続合わせて 9 名

<内訳>

前年度からの継続者	2 名
新規採用予定者（秋期から）	7 名
計	9 名

【支給額】

渡日一時金として	@1,000 千円×7 名=7,000 千円
滞在費等として	@150 千円×2 名×12 月=3,600 千円
	@150 千円×7 名×6 月 =6,300 千円
計	16,900 千円

上記①～③の奨学支給費の合計額 294,580 千円

- (イ) 奨学生間及び財団関係者との交流を行う。  
奨学生交流会を年 4 回（うち 1 回は 2 泊 3 日の研修旅行）実施する。
- (ウ) 奨学生その他留学生に対し指導助言を行う。
- (エ) 令和 3 年度の奨学生の募集を行う。

## (2) アジア留学終了者研究助成事業

アジア諸国からの留学終了後、我が国の大学・研究機関等の研究職に留まり研究を継続している者（助教、講師）の研究課題に対し、研究助成金を支給する。支給期間は、原則として2年間とする。

支給件数            18 件程度

予算額                60,000 千円  
(1 件当たり上限 500 万円程度)

## (3) 顕彰事業（新規）

情報電気電子工学に関連する諸分野において、独創的な研究を行い、顕著な業績を挙げ、今後も研究の展開が期待される国内の研究者に対し顕彰を行う。

(ア) 名称              「ヒロセ賞」

(イ) 対象              1 名

(ウ) 賞金等           賞状、賞牌、1 賞：3,000 万円

## (4) その他関連事業

(ア) 交流会（2泊3日の研修旅行を含む）の開催

(イ) 芸術文化交流事業

芸術文化を通じた国際親善・交流を図るため、国立劇場、新国立劇場、等と連携し、歌舞伎、文楽、オペラ、バレエなど我が国の伝統芸能、現代舞台芸術に親しみを持つ機会を提供する。

(ウ) 「交流のひろば」No.26 の発行